

ニュースレターQ

天保8年(1837年)創業 / 第167号(2021年6月1日発行)

スギウラ株式会社

〒370-0006 群馬県高崎市問屋町 2-2-8

【TEL】 027-361-5808 (代) 【FAX】 027-361-1272 【MAIL】 water@kamisugiura.co.jp

【HP】 <http://www.kamisugiura.co.jp/> 【SHOP】 <http://www.dotrakuichi.com/sugiura/>

今月の用紙：S金菱 90k

リニューアル号

あっという間に穏やかな気温を越し、暑い日が増してきました。天気予報によると、今年は例年より気温が高い日が多いとのこと。熱中症などで体調を崩されぬよう、ご自愛ください。

さて、前号(166号)にてお伝えした通り、本号より小紙をリニューアルしました。大きく変わった点は、サイズです。A3サイズ二つ折りから変形サイズ(ヨコ600×タテ190)巻き三つ折りにしたことで、今までよりもコンパクトとなりました。次に、不定期にはありますが、様々な用紙を使用していく予定です。今号は印刷用紙の基本である、上質紙を使用しています。オススメの用紙や新製品が出た際は積極的に使用していきます。使用している用紙の銘柄は毎号1ページ目に掲載しておりますので、楽しみにお待ちいただけると嬉しいです。

“リニューアル前よりも読みやすく”を目標にしていますが、読みづらい点があるかもしれません。その際はお気軽にご指摘いただければ幸いです。今度とも小紙をよろしく願い申し上げます。 (真)

「日本の色上質」廃色商品のお知らせ

日本の色上質は、今まで 30 色の豊富なバリエーションで展開されてきましたが、この度「サーモン」「みどり」「白茶」「ピュアライム」の 4 色が現状のメーカー在庫をもって廃色になります。「ピュアライム」は日本の色上質にしかない色ですが、「サーモン」「みどり」「白茶」の 3 色は、弊社在庫商品の大王の色上質でご用意できますのでご安心ください。大王の色上質の見本帳のご用意もございますので、色の確認をされたいお客様は、弊社担当営業までお問合せお待ちしております。宜しくお願い致します。 (S)

用紙の用語について

特殊紙の見本帳の背表紙に、「ラフ」「スムーズ」とありますが、実際どのような特徴の紙なのかご存知でしょうか？ 簡単に特徴の説明と、それに該当する紙をご紹介します。

「ラフ」とは、粗い質感でざっくりとした手触りの紙のことをいいます。柔らかさや暖かみのある風合いがあるのも特徴です。「マーメイド」「A-プラン」などがあります。「スムーズ」は「ラフ」に比べて、しなやかな表面の風合いの紙です。様々な用途に使用できます。「NT ラシャ」「アラベール」などがあります。

また、一般紙でも、「グロス」「マット」「ダル」などの種類があります。「グロス」は光沢がある紙です。カタログやパンフレットに使われます。弊社主力商品ですと、「パールコート」になります。「マット」は光沢を抑えた紙で、よく市町村の「広報」で使われています。弊社主力商品は、「ニューVマット」になります。「ダル」は、紙自体の光沢を抑えながら、印刷をした部分に光沢を持たず特徴があります。「サテン金藤」などが代表的な銘柄になります。宝石や自動車などの高価な物を扱うパンフレットやポストカードなどに使われることがあります。

今回ご紹介したこと事以外でも紙について分からない事がございましたら、弊社担当営業までお問合せ下さい。宜しくお願い致します。 (S)



和菓子の日



皆さん「和菓子の日」という記念日があることをご存じでしょうか。時を遡ること平安時代中期、当時国内に疫病が蔓延したことから、第54代天皇にあたる仁明(にんみょう)天皇が受けたご神託に基づき、6月16日に「1」と「6」の数にちなんだお菓子や餅などを神前に供えて、疫病除け、健康招福を祈願しました。そして、元号を「承和(じょうわ)」からめでたいという意味の「嘉祥(かしょう)」に改元しました。その後も6月16日に疫病除け、健康招福を願って菓子を食べる「嘉祥菓子(かじょうがし)」の習俗が、形を変えながら江戸時代頃まで続きました。しかし明治時代に入ると、その習俗も段々と廃れてしまったのです。そこで、全国和菓子協会が改めてこの行事を現代によみがえらせようと、6月16日を「和菓子の日」として昭和54年に制定しました。嘉祥菓子に決まりはないそうですが、お店によっては、1と6を足して7つの和菓子をセットで売り出しているところもあるようです。普段和菓子を食べないという方も、6月16日にはぜひお近くの和菓子屋さんで好きな和菓子を選んでみてはいかがでしょうか。(F)

頭の体操

下記のシルエットの、都道府県はどこでしょうか？

①



②



③



ジャンネーの法則

6月10日は「時の記念日」ということで、今回は時間について考えていきたいと思います。私は40歳なのですが、学生の頃と比べると1年があっという間に流れているように感じています。時間は全ての人に1日24時間のはずなのに、年齢を重ねるとなぜ早く過ぎると感じてしまうのか？年を取ると実際には早く過ぎているわけではないのに、体感的に早く過ぎていくというのは、なんだか損をしている気分になります。実はこの年齢による時間の感じ方は19世紀のフランスの哲学者のポール・ジャンネーによって『ジャンネーの法則』として定義されています。

ジャンネーの法則とは、「人生のある時期に感じる時間の長さは年齢の逆数に比例する」という考え方で、年を取るにつれて自分の人生における1年の比率が小さくなるため、体感として1年が短く、時間が早く過ぎると感じられるようになるというものです。例えば1歳の時に感じた1年を1/1とすると、2歳の時の1年は1/2となり、1歳の時の2倍速く感じるようになります。5歳の時は1/5で1歳の時の5倍、10歳の時は1/10と分母である年齢が大きくなるごとに、人生のうちにその1年が占めた割合が少なくなり、体感として時間が短くなったように感じるという考え方です。ジャンネーの法則によると、人生を80年と仮定すると、体感的には20歳で人は人生の半分を終えているようです。すなわち、残りの20歳から80歳くらいまでの長い年月は、0歳から20歳までの体感時間と同じということで、体感的に約3倍のスピードで過ぎ去っていくということになります。そう考えると、毎日を大切に生きていかないともったいないと思ってしまう。

また、1年の比率が小さくなった他にも、時間が過ぎるのが早く感じる理由は、生活に新鮮味がなくなることです。子どもの頃はまだ知らないことが多く、毎日のように新しい経験や発見がありますが、大人になればなるほど様々な経験をしていき、新しいものに出会えるチャンスは少なくなります。人は未経験のものをやっているときは、それが強く意識に残り時間が長く感じますが、慣れてしまうと時間の長さが気にならなくなり、早く感じるようになります。

他の人よりも時間が短く感じられてしまう生き方よりも、常に新しいことにチャレンジしてドキドキワクワクしながら、楽しく長い時間を過ごせる方が断然いいと思うので、常に新しいことやものに挑戦していくと長く楽しい人生になるのではないのでしょうか。

(お)



新しい趣味

私には特にこれといった趣味はありませんでしたが、コロナで人込みを避けるために密にならないで出来る趣味を見つけました。ガーデニングと散歩です。ガーデニングは昨年からはじめたばかりで分からないことが多いですが、家の庭でいろいろな植物を育て始めました。なかでも、ブルーベリーは初めて植えたにもかかわらず無事に実がなり収穫することが出来ました。今年も実がなるように上手に育てていきたいと思っています。他にも庭や植木鉢を使って薔薇や紫陽花、ナスなどの野菜を育てています。もうすぐ花が咲くので楽しみです。

散歩は近所を中心に一人で歩いています。春先は近所の桜がとてもきれいでした。4月終わりには藤の花が見ごろだったので、少し遠出をして、藤岡のふじの咲く丘に散歩に行ってきました。コロナが落ち着いたら、他の所にも遠出してみたいと思っています。この2つの趣味はコロナ収束後も続けたいと思っています。

(に)

頭の体操 解答

シルエットの答えと各県の特徴です。

- ①新潟県 Niigata……………お米(コシヒカリ)や金山が有名で、スキー場が数多くあります。
- ②愛媛県 Ehime…………… 四国の一県であり、松山城や蜜柑が有名です。
- ③和歌山県 Wakayama……………熊野古道や白浜の海が有名で、梅が沢山採れます。

NEW! 新しくなったニュースレターをよろしくお願いたします

オススメ商品

プラスチック手袋E パウダーフリー



パッケージ (Mサイズ)



着用イメージ

【商品特徴】

- 素手感覚で使用できる、伸縮性のある薄手の手袋です。
- パウダーフリータイプなので、粉による手荒れが気になる方も安心してお使いいただけます。
- ムダなく使える左右兼用タイプです。

【商品詳細】

- サイズ S/M/L
- 入数 100枚
- ケース 10箱入

サイズ	全長(mm) ±5 mm	掌幅(mm) ±5 mm
S	235	85
M	240	95
L	245	105